

フリーランスと 編集長の ハザマで

小説家にして翻訳家、音楽レーベルdog and me recordsを主宰する作曲家、インディーポップ/ロックバンド、スイスカメラのメンバー、そして文学ムック『たべるのがおそい』（書肆侃侃房発行）の編集長、さらに歌誌「かばん」においてはフラワーしげる名義で短歌も詠む西崎憲さん。彼の活動の中心はどこなのか、その働き方はどうなっているのだろうか。

文芸誌、翻訳文学、地方版元、短歌結社…。それは誰がどのように運営し、誰が参加して成り立っているのか。

一見、マージナルな位置どりに見えながらも、大向こうからの評価が高い活動にスポットを当て、かつフリーランスとしての働き方の妙味を探る寄り合いです。

【トーク】 **西崎憲**さん（文学ムック「たべるのがおそい」編集長）

【聴き手】 **牧原勝志**さん（編集者、翻訳者）

日時： **9月20日**（水）18:30～20:30

会場： **出版労連会議室**

（文京区本郷 4-37-18 いろは本郷ビル 2F）
地下鉄丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」下車 5分

会費： **500円**（出版労連組合員は無料）

主催： **出版ネッツ関東支部・出版情報関連ユニオン**

